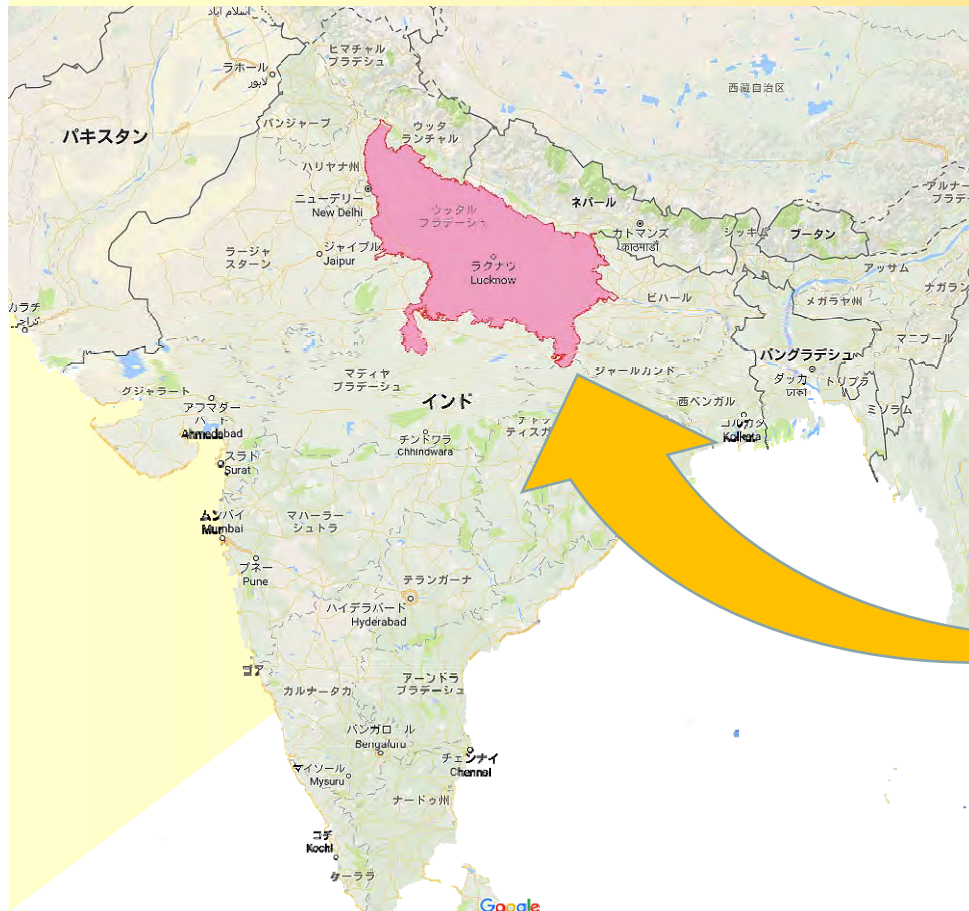


インド国UP(ウッタール・プラデーシュ)州における農村開発の実際と弊社の関わり



～ 水・光・エネルギー、培ってきた
日本の技術とノウハウをインドへつなぐ ～

インド国ウッタール・プラデーシュ州



- ・地理的には、ネパールと国境を接するインド北東の州（ネパールとも歴史的にも関係が深い）
- ・州面積は約24万km²（日本の本州程度）
- ・人口は約2.2億人（日本の約1.9倍）
- ・州都はLUCKNOW（ラクナウ）、都市計画に基づいた美しい都市（首都NEW DELHI（ニューデリー）より東へ約500km）
- ・典型的な農業州、インド中南部に比べ経済発展の遅れ
- ・農業生産者の収入の増加（現在の**2倍以上**）に注力している
- ・日本をはじめ欧米企業の様々な技術移転を望んでいる



ラクナウのFairfieldホテル（マリオット系）より撮影。写真右に護岸整備されたガンジス河の支流Gomti川が見える

ウツタル・プラデーシュ(UP)州の農業分野の開発課題

“Inclusive Growth”
格差・不均衡の是正
■ 農村の生産性の向上

“Farmer Growth”
経済成長の持続的发展
■ 経済インフラ整備
■ 雇用創出

- 農村インフラの整備
- 農業技術の研究・開発投資と普及
- 農業生産性の向上
- 農作物の高付加価値化・多様性の推進
- 農村の生計向上及び雇用機会の創出

同州は農業への依存度が非常に高いため、人口が急増する中で食糧の安定的な生産拡大やインド国内でも最も多く存在する貧困層の底上げが急務

第12次5カ年計画(2012年より)
“Faster, Sustainable and inclusive Growth”

ミヤチ株式会社概要

会社概要

会社名	ミヤチ株式会社
本社所在地	豊川市市田町本野原18番地6
代表者	代表取締役 宮地 清和
設立年月日	昭和28年2月1日
資本金	4,000万円
主な事業	1. LED製品の製造・販売 2. 太陽光発電応用事業 3. 建築設備業

事業理念

我々を必要としてくれる顧客のために、
社員自らが様々なことに興味を持ち
技術開発やアイデアの具現化に積極的に
取り組み提案し、顧客と世の中に
新たな「！（おどろき）」を提供し続けます。



弊社の紹介

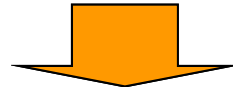
- 豊川市を本拠地とし、地元東三河を中心に水道施設を始めとした給排水衛生設備工事の設計施工する50年以上の実績を有する企業。
- 上下水道工事及びこれに付帯する水回り設備のスペシャリストとしての経験とノウハウを有し、特に最近では、鶏舎を始めとした畜産特殊施設の水処理の数多くの実績有。
- これとは別に、20年ほど前より、太陽光発電・LED応用製品の開発・設計・製造という事業分野にも進出し、取引実績としてデンソー、トヨタ自動車、コイズミ照明、パナソニックなどと共同で製品を開発し、供給を行っており、電機・電子機器製品のモノづくりでの経験を培ってきている。
- 特に多くの経験を有する独立系太陽光発電システムの設計については、キーデバイスであるソーラー**コントローラ**を小型から大型まで数種類自社開発し、他社にOEM供給を行っている。LED応用商品としては、名古屋大学と愛知県立大学と共同で生活改善や精神疾患の改善に役立つLED照明の開発等を手掛け、商品化に向け研究を進行中。
- 現在は、前述した水道事業を始めとした水処理の設備や施工ノウハウと太陽光による電源供給、オゾン応用事業を組み合わせた電源が不安定な国や地域での安心・安全な水と電気の供給プラント事業(設計・開発)に積極的に携わっており、海外における試験導入なども実施。

弊社事業のUP州への展開

・インド政府は、2012年よりインフラ整備への投資額56兆ルピーの内、電力・再エネ部門には約3分の1の18兆ルピーを投じ、5年間で石炭火力6,928万kW、再エネ3,000万kW、原子力530万kWなど合計1億2,000万kWの電源を開発する計画が進行。



これだけ大規模な投資をしても、12億人の人口を有する末端まで、特に農業地域の電力インフラは、全くと言っていいほど進んでいない。



そこで、オフグリッドによる電力の確保(太陽光発電)にUP州などは舵を切っており、農業の近代化のための動力を利用した機器の電源としても、太陽光発電を利用したものを使用したいと考えている。



その他、
農業・酪農技術の向上
廃棄物処理
上水・污水处理施設の導入
など、幅広い日本の寄与が可能

弊社事業のUP州への展開

- インドの商工会議所であるPHDの会員に登録済み。
- また、UP州政府のインキュベーター企業としても認定を受けており、州政府より政府開発資金を使った事業にも取り組んでいく責務を負う。



実際に納品している製品の例

Solar Power Sprayer



Nippon Agricultural Solar Sprayer
The spray is charged with the sun's light and no power is needed!
Any time, any where you can use!



Developed by Miyachi Corporation &
Japan Development Co., Ltd.

弊社の州政府との関係の構築実績

One Window Systemの構築のため州首相Yogi氏他と面談



World Food India
でのSolar Power Sprayer
納入に関するMOU締結

UP農業関連展示会 AgriHoritへの参加



UP州で開催されたInvestors Summitへの参加とジャパンセッションでのプレゼンテーション



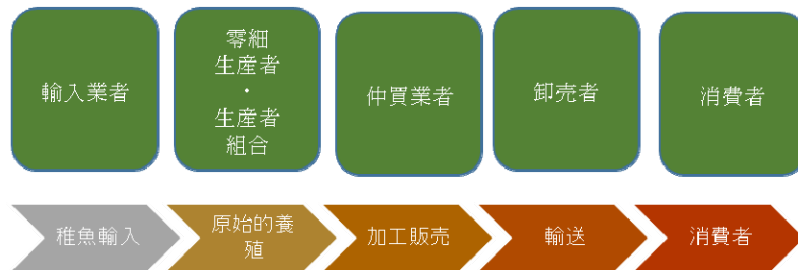
農村開発に弊社として関わる事業の概要

事業名(仮)		インド国内における日本製農畜産業向け機器の販売及び日本のノウハウを用いた各プロジェクトの推進
所在地		インドUP州 州都ラクナウ周辺および州内各所
事業主体		ミヤチ株式会社、株式会社Japan Development他
事業の概要	事業期間	H29年3月～H34年2月(半期毎の予算消化基準有り)
	予算出所	政府開発(Incubation)予算＋農畜産業用補助金(規模は半期で変わる)など
	事業種類	ナマズの孵化養殖施設と電源システムのソーラー＋蓄電池化(Cat Fish Culturing System)
		ミルク分析機(Milk Analyzer)
		ソーラー噴霧器(Solar Power Sprayer)
		圃場均整用機器(Laser Land Leveler)
		ソーラー街路灯(Solar Street Light)
		ソーラー簡易照明(Solar Lantern)
		その他(ソーラーポンプ,ソーラー殺虫機)※数値には入れていない
	事業規模(5年間)	約210億円

その他、他養蜂事業やガンジス川流域他での**オーガニッククラスター**などによる循環型農業の展開 9

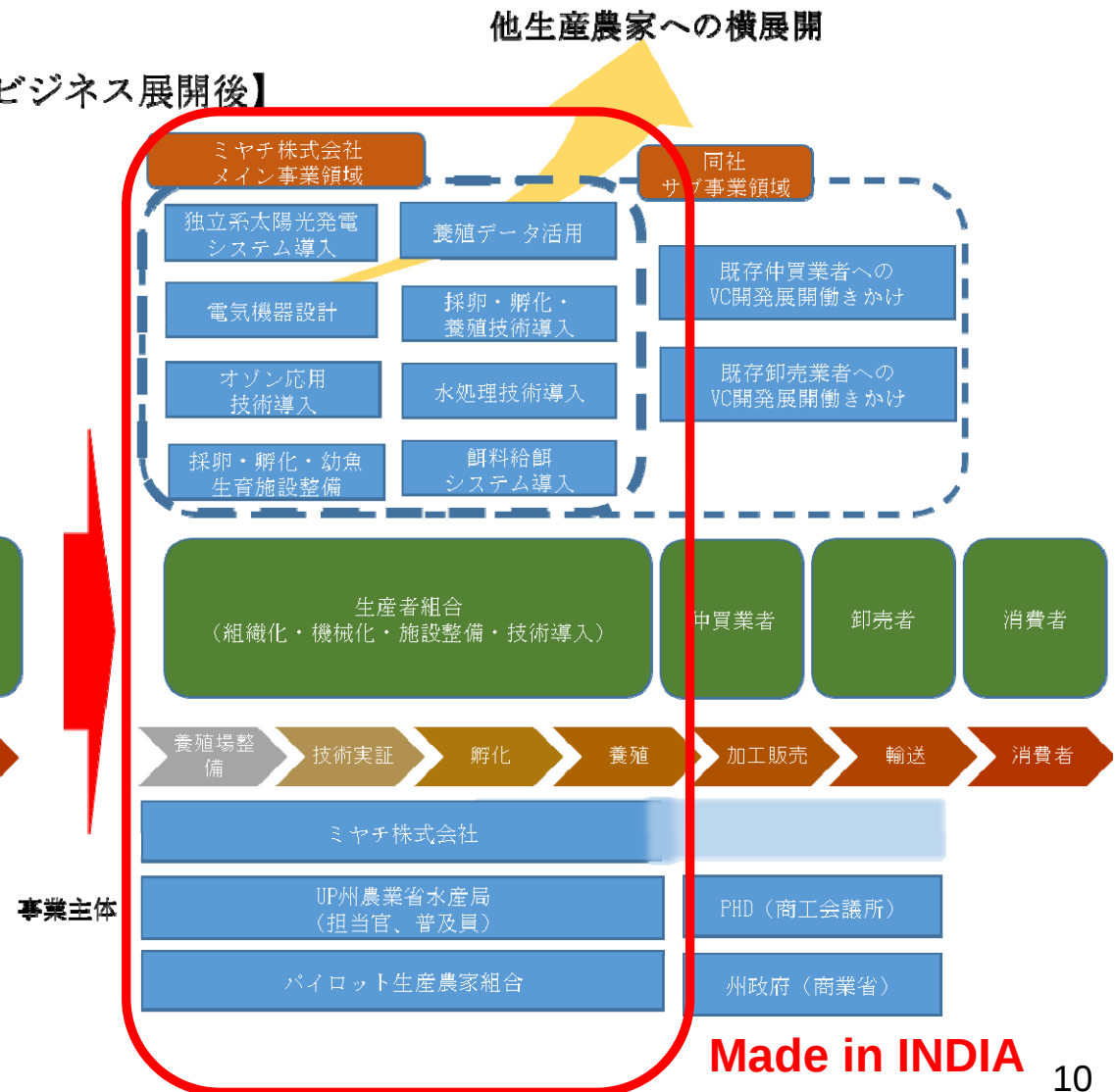
例) 弊社の強みを活かしたナマズ事業のビジネスプラン

【現状】

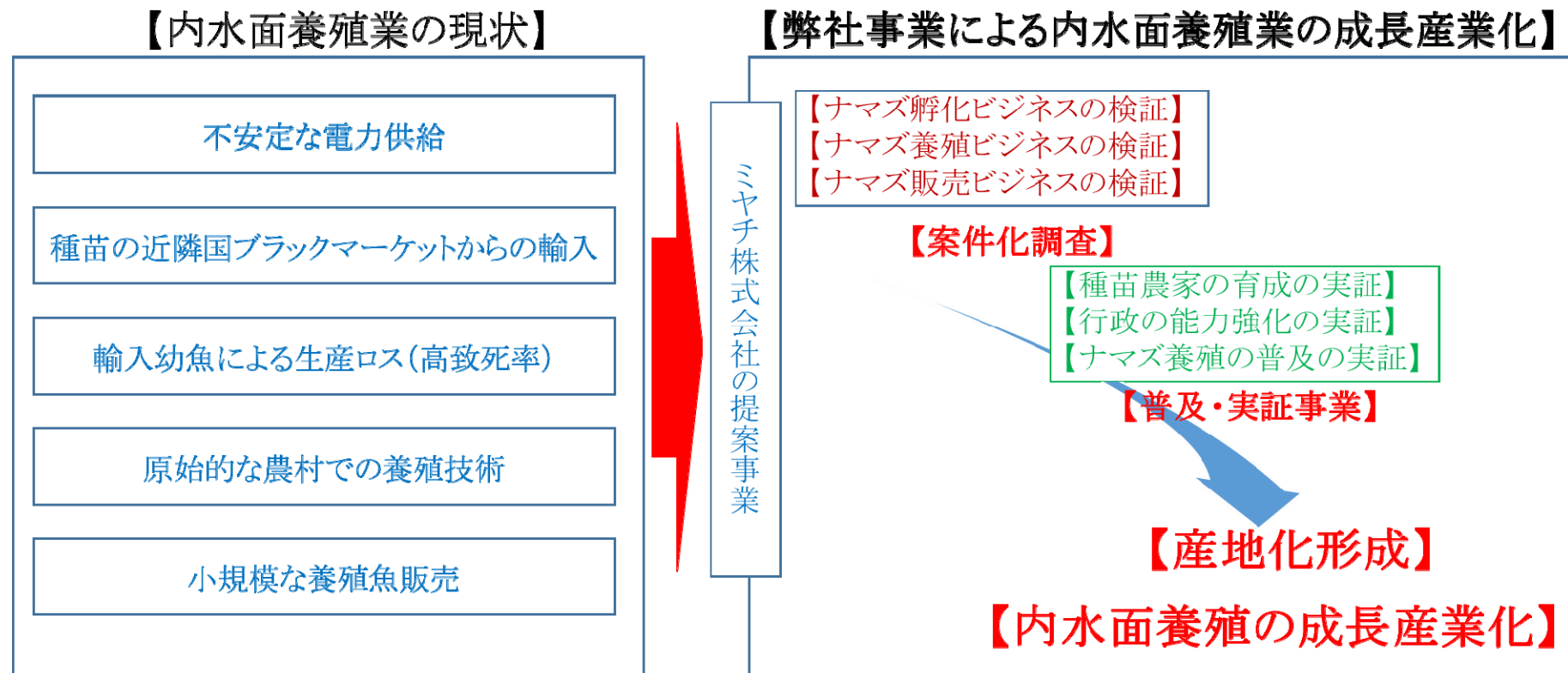


Made in foreign countries

【ビジネス展開後】



例) ナマズ事業のビジネスプラン JICA事業の活用



地元経済およびインドUP州経済・雇用の促進

インド	製造・販売	製造	製造人員として	5年で50人を採用
		製造	製造売上として	5年で1.7億円
	メンテナンス	営業・事務人員	雇用社員	5年で120人を採用
		メンテ費用として	経費費用	5年で2.4億円
日本国内 本市地域	開発・設計・製造	開発・事務	人員として	5年で12人を採用
		製造	製造売上として	5年で6.5億円

・間接的には日本の様々な技術の移転を図り、農村部の収入を現状の**2倍以上**にする。

UP州LUCKNOW郊外の様子



LUCKNOW市内より車で40分~1時間程度の風景

UP州LUCKNOW郊外の農村の様子

酪農家の様子



養蜂および養蜂用の花の栽培



なまずの養殖場



さいごに

最後まで御静聴いただき誠に
ありがとうございました。
是非とも一緒にインドUP州の開発に関わっ
ていただけることを期待しています。

 **ミヤチ株式会社**

